



天王森通信

2024年 7. 8. 9月号 No.123 発行 天王森泉公園運営委員会

写真【ほたる鑑賞会の泉館と飛び交うホタル】

夏を迎えて

運営委員会会長 角本 等

今年の夏(7~9月)の天候の予測では、気温は平年より高く、観測史上最も暑くなった昨年に匹敵する暑さとなる可能性があるそうです。当公園では、お客様・ボランティアの方々及びスタッフを暑さから体を守る為、暑さ指数(WBGT)計測器で計測し、注意喚起を行っています。

そんな中、当園では夏の暑さを忘れる、美しい野草の草花、竹林と木々の間を通ってくる風、チョウやトンボ等虫の姿や羽音、セミや野鳥の鳴き声など聞くことができます。また、古民家の泉館は、エアコン等は有りませんが、豊富な湧き水が、わさび田~せせらぎ~大池~小さな滝を流れる水の上を通って来る風と、風鈴の音色が涼しさを演出してくれます。天候や時間等を見計らって来園され、行事など楽しい夏のひと時をお過ごしください。

自然観察指導員講習会に参加して

横浜市内では貴重な里山~私にとっては、大好きなフィールドでもある[天王森泉公園]。その魅力をより多くの人に知ってもらいたい...という想いから日本自然保護協会の講習会に参加しました。

受講を通じ改めて感じたのは、ここ[天王森泉公園]はコンパクトながら里山の魅力がギュッと詰まった場所だ...という事。

講習会では、「いつでも どこでも 誰とでも」というキーワードがありました。例えばここ天王森で「共に森を歩く...」そんな体験を共有する事で、視点が変わり今まで気づかなかった自然の美しさや不思議さを発見するきっかけが生まれる事でしょう。

朝も夕暮れも、雨の日も 晴れの日も...日毎 多彩な表情を観せてくれるこの場所で 小さな発見や感動を共有しませんか? 今後は関わってくださる方々からの学びを加え、日々フィールドの研究を続けていきたいと考えています。

厳しい暑さが予想される今年の夏ですが...水や緑の風を感じる事ができる里山へ、どうぞ 遊びにいらしてください!

自然を共有する仲間のひとりとして、皆さまのご来園を心よりお待ちしております。
by 若林

夏の野の花苑

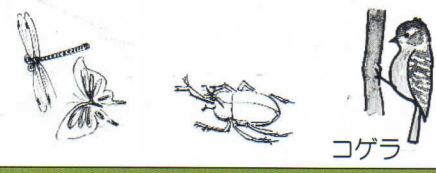
今年は花の咲く時期がいつもより早く、夏に咲くといっても早めに咲いているかもしれません。ここでご紹介する植物は、ハイキングなどで出かけた時にみられる花です。レンゲショウマは高尾山、タマアジサイは箱根や丹沢、ナンバンギセルは仙石原のススキ野原などで見られます。散歩のついでに見られる野の花苑にお出かけください。
by 風露草



レンゲショウマ

タマアジサイ

ナンバンギセル



コゲラ

天王森泉公園行事カレンダー詳細はホームページを参照ください。

「生き物調査観察会」
7月2日(火) 参加予約
モニタリング調査
毎月第1火曜日を予定

「七夕まつり」自由参加
6月28日(金)~7月7日
短冊飾り付け(お願い事を)

「夜の虫ライトトラップ」
7月28日(日) 参加予約
夜の光に集まる生き物の調査・観察

「水辺で遊ぼう生き物観察会」
8月4日(日) 参加予約
水辺に棲(す)む生き物観察

「かかし展示」
9月初旬~10月下旬
かかしコンテストは、中止
公園ボランティア作品展示

「そば打ち体験②」
9月22日(日) 参加予約
2・8手打ちそば体験
初心者向けです

天王森泉公園のホームページ <https://www.tennoumori.net>



天王森泉公園



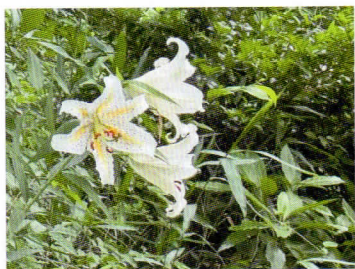
TENNOUMORI OFFICIAL

夏のくわくわ森

夏は生い茂る草との戦いです。特に今年は木々が伐採され森が明るくなったため、いつもの年より草の伸びが激しく、ボランティアさんたちは草刈りに追われています。それでも良いことは、ヤマユリが元気にたくさんの花をつけて、森のあちこちで咲いていることです。今咲いているのは「早生わせ」の種類で、夏には「晩生おくて」の山ゆりが咲くので又楽しめます。

これからの作業は「南広場」ですが、以前ヒノキ林があった所です。開墾をして日本固有の在来種の植物を増やし、チョウが飛び交う広場にしようと手を入れています。

楽しみにしててください。 保全管理 山本



ヤマユリ



南広場

夏の田んぼ

天王森くわくわ森前の田んぼで、天王森の湧水も使って「もち米」と「黒米」を栽培しています（畔で黒豆も）。今年も、5月末～6月上旬にかけて、なかよしこども園、鳩の森OBファミリー、フリースクール「かけはし」、一般参加の親子など参加により「田植え体験」を行いました。子供たちは皆泥んこになって大はしゃぎでした！その後、田植え機も使って、稲がひととおり植まりました。

今度は、梅雨～真夏～秋にかけては、田んぼの雑草達との戦いです・・・無農薬なので田んぼに入って草取りに追われますが、私は、この時期・作業が一番好きです！田んぼの中はひんやり（かつヌルっと）して気持ちがいいし、オタマジャクシが一杯、トンボもたくさん飛んできます（小さくてきれいなイトトンボ達も）・・・ここは楽園です！

ということで、まずは、この時期から田んぼ作業に親しんでみては如何ですか？（★随時、メンバー募集中！）9月末からは、稲刈り・収穫を予定しています。田んぼ作業や予定等については、ホームページをご参照下さい。

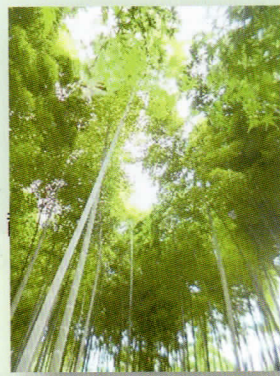


田んぼグループ
水越

竹林の夏

夏から秋への季節の移り変わり、竹林の緑が次第に黄色に変わり秋風が心地よく吹き抜ける光景を想像し、楽しみください。

by 大西



きのこ苑

夏場のきのこ苑は暑さ防衛に遮光ネットを覆いかぶせています。

散水も適宜、恵みの雨を期待するがうまく運ばない。

天敵台湾リスによる被害が大きく、秋から春への収穫が危ない！

by 大西



遮光ネット

そば同好会



さくら蕎麦❖・お抹茶そば、香りをはこぶ蕎麦打ちが楽しい！

9月には初心者体験が予定されます。評判のそば粉で打つお蕎麦は、ご当地蕎麦を自から打てる。自前蕎麦で全国一周を果たします。乞うご期待！

by 大西

主な行事のご報告

■「田植え体験」5月25日(土) 写真左下参照
当日は、曇り時々晴れで熱くなくちょうどよい天気となりました。午前中は、一般応募の10組27名と地域の子供園26名の52名の参加、午後からは、別の子供園の31名参加で田植え体験を行いました。

■「ほたる鑑賞会」6月3日(月)～6月6日(木)
本年は、上記の期間ホテル観賞会を予定しましたが、6月3日は雨天中止、6月4日のご来園は288名、5日は430名、6日は470名と3日間の総来園者数は1,188名でした。ホテルの出現数も連日35～40頭でした。



【ホテルの説明】

天王森泉館利用案内

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎月第2・4火曜日（祝日は翌日）

年末・年始（12月29～1月3日）

問合せ先：天王森泉公園事務局 045-804-5133

館内施設の利用：利用日の2ヶ月前より申込受付